

九州および小笠原沿岸におけるシマアジの生態

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2025-04-24
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 益田, 玲爾, 塚本, 勝巳, 塩澤, 聡, 今泉, 圭之輔
	メールアドレス:
URL	所属:
	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014410

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



九州および小笠原沿岸におけるシマアジの生態

益田玲爾・塚本勝巳・塩澤 聡・今泉圭之輔

九州沿岸と小笠原沿岸においてシマアジの生態調査を行った。大分県蒲江では、12月から翌年5月にかけて全長5~15cmのシマアジが沿岸の水深5~10mの岩礁地帯へ10~100尾程度の群れを作って出現した。長崎県五島福江島の高浜では、7月に水深2m程度の遠浅砂浜域に全長約18cmの若魚が出現し、摂餌行動が観察された。また小笠原では6月に全長12~16cm程度のシマアジが水深2m以浅のリーフ内に見られ、これより大きい個体は水深15mおよび30mの沈船周辺に多く見られた。本種の棲息環境として、砂地の中の立体構造物が重要であると考えられた。

栽培技研, 22(1), 55-65, 1993